

教育委員会

コラム Vol.2

教育長室の窓から

こせきゆうじ
古関裕而をご存知ですか

過日、内之浦小学校の入学式に出席いたしました。校長室に入るなり、校歌の作曲者が古関裕而であることに驚きました。古関裕而は、福島県福島市の生まれで、NHK朝の連続小説「エール」の主人公のモデルであり、福島市の名誉市民です。

気品ある格式高い曲風で知られ、栄冠は君に輝く（甲子園で歌われる曲）、オリンピックマーチ、巨人や阪神、早稲田や慶應といった野球の応援歌、そしてモスラの歌など、古関メロディーと言われる曲を約5000曲も作曲した日本を代表する大作曲家です。校歌も数多く作曲していますが、内之浦小学校の校歌は、現存する校歌として全国で最も古い可能性があるとのことでした。



古関裕而（壮年期）



作曲に至った経緯を校長先生にお聞きしましたら、作詞者の田中親人氏（内之浦小学校の初代PTA会長、元内之浦郵便局長）の親戚の方が、古関裕而の親友だったことがきっかけのようです。

学校の校歌は、脈々と歌い継がれ、校旗とともに学校のシンボルであり伝統として受け継がれるものです。これからも校歌が愛唱され、学校の誇りに思うとともに、福島県との縁について感じていただければと思います。

教育長の

ちょっといい話

立哨をして思うこと…



「立哨または立哨指導」という言葉をご存知でしょうか。

朝の登校時に学区内の交通量の多い場所などに立って、子どもたちの登校の様子、交通状況などを見て、子どもたちの安全を守ることです。

肝付町では、保護者の皆さん、地域の皆さん、教職員、さらに役場職員の皆さんに立っていただいているお陰で、子どもたちは安心して登校しています。

私が立哨をして感じたのは、まず、子どもたちの挨拶です。立哨している方への朝の挨拶、停まっていた車の運転手さんへの礼など、子どもたちの笑顔、姿に感心しました。また、私が主に立っているのは、文化センター入口の変則的な交差点ですが、運転手の方々も、子どもたちを見たらしっかり停車しています。

あらためて、立哨指導の目的は、交通事故、不審者などから子どもたちを守るとともに、子どもたちの交通安全意識を養うことですが、積み重ねることによって、地域の交通事故を防ぐこと、住民の皆さんの交通安全に対する意識の啓発にもなると、感じたしだいです。

令和6年度教職員の定期人事異動（追加）以下の通り転出・転入がありましたのでお知らせします。

転 出		転 入	
高山小	講師 牧住 由美子	内之浦中	講師 鶴田 智子
		国見中	講師 岩下 さやか
		国見中	講師 西青木 琴美